

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会名: 中井町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
神奈川中央交通西株式会社	<p>運行系統名: 中井町オンデマンドバス (通称:中井ふれあいバス)</p> <p>運行区域: 中井町内全域(乗降ポイント118箇所)を対象としたデマンド型交通システム(区域運行型)</p>	<p>公共交通空白地域の解消だけでなく、町全体の魅力を高める移動手段として、平成25年1月10日から運行している中井町オンデマンドバスについて、大規模な見直しを実行しない代わりに、より必要とする利用者のための運行体制の見直し・改善(運行エリアや乗降ポイント、予約方法等)を図るため、地域の利用状況を深掘りして分析し、需要予測から持続可能な地域公共交通システムを探る期間とする計画となっている。</p>	A <p>運転免許証自主返納者に対してオンデマンドバスの回数券を交付し、未利用者への利用喚起を行うとともに、町外乗降ポイントを廃止し、短距離・短時間の運行を増やすことで、より多くの方に予約が受けられるよう見直しを行った。また、利用者の属性や利用目的、利用状況等を深掘り分析し、実態に合わせた運行体制の構築の検討を行っており、計画通り事業は適切に実施された。</p>	B <p>平成30年度(平成30年9月末現在) 利用者数:33.5人/日</p> <p>町内完結型運行に切り替えたことにより当初目標とした42人/日以上を下回った結果となったが、町内利用のみで比較すると昨年度より増加傾向にある状況である。また、比較的直近の予約が取りやすくなった結果、当日予約が増えている状況でもある。登録者数も微増ではあるものの増えており、公共交通空白地域や、高齢者、小学生等の移動手段としては一定の利用が維持されている。</p>	<p>運行エリアを町内のみに絞り、運行の回転数増加や路線バスとの乗り継ぎ利用促進を図ることを目的に町内完結型運行に移行した。全体的な利用者数は一時的に減少したものの、その後、増加傾向に転じている状況にある。また、運転免許証を自主返納した方に対してオンデマンドバスの回数券を交付し、生活の足としての利用を促していくとともに、引き続き利用方法の周知などPR活動も併せて実施し、利用状況の検証を行いながら、町民のニーズに合わせた運行体制への見直しの検討を進めていく。</p>

【各評価項目の評価基準】

④事業実施の適切性

- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。
- B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。
- C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった。

⑤目標・効果達成状況

- A…事業が計画に位置づけられた目標を達成した(する見込み)。
- B…事業が計画に位置づけられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)。
- C…事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)。